

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2023年 2月 25日

事業所名： パンダキッズ元町

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習や室内活動において十分なスペースが確保されている。児童がクールダウンできる場所があれば尚良いと思う。	(21回答) はい(21) 「簡単な運動ならできそうくらい広い」「のびのびできる空間ありがたい」というご意見を頂きました。	子どもたちが利用するにあたり、十分なスペースが確保され、ご家族からも子どもがのびのびと過ごしていると回答を頂きました。
	2 職員の適切な配置	職員の急な体調不良、家族の介護、育児の為に欠勤した場合、困窮する事がある。	(21回答) はい(19) どちらともいえない(2) 「専門分野の先生が活かされているか伝わりにくい」と言うご意見を頂きました。	人員が少なくなる時には、職員間の連携を深めて安全を保っていきます。専門職員の知識、技能を活かしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	玄関入り口に階段があり、側溝も深いため注意が必要。 トイレ内での対応処理の時には狭さを感じる。	(21回答) はい(18) わからない(1) どちらともいえない(2) 「見通しが必要と伝えたら早速対応してくれた」「実際に見ていないのでわからない」	身体に不自由がある児童や、注意欠如、多動が見られる児童には特に注意して誘導しています。個別指導や鎮静が必要な場合は更衣室談話室等の利用など工夫をしています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	児童が使用している所は清潔に保つよう努力している。普段手がまわらない所は時間が空いた時間にチェックしている。	(21回答) はい(21)	急な嘔吐や排泄があった場合にも迅速に対応し、清潔な環境を保てるように気を配っていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	モニタリング、支援に関しての話し合いはを随時行い、職員全員の意見を取り入れている。		モニタリング、支援会議はできるだけ全員の意見を聞けるようにして、支援計画書に反映している。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	神戸市や子ども家庭センターなどと連携はとっているが、その他の第三機関がよくわからない。		行政などの通達や研修を利用して、働きやすい事業所を目指していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	全員がウェブ研修を含めて外部での研修も受けている。		行政からの広報や、一般の研修をインターネットなどで情報を収集しています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	一人の計画書作成に何度も会議、話し合いをしている。	(21回答) はい(21) 「子供の事をよく見てくれている」「家族の意見も計画書に入れてくれている」などのご意見を頂きました。	支援計画書作成後に支援計画会議などで職員それぞれの意見を聞き、ご本人やご家族の思いと合わせて総合的に作成するようにしています。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	集団活動でも個別に有効な支援をプログラムに取り入れるようにしている。	(21回答) はい(19) どちらともいえない(2)	個別の活動を全員にできているわけではないが、普段の遊びの中からも児童に適した療育を考えています。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ご家族の意見も含め児童の特性、将来の事も議論して計画書に記載している。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1)	常にご家族にわかりやすい計画書になっているかを意識して作成しています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画書作成時以外にも計画内容を職員同士で確認している。	(21回答) はい(20) わからない(1) 「難しいこともいろいろ工夫してくれている」とのご意見を頂きました。	普段の職員同士のやり取りからも、職員全員が支援計画書の内容を把握して支援できるようにしていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	普段からアイデアがあれば出し合い、話し合いをしている。 同じ活動でも児童の特性によつての配慮なども話し合つて決めている。		保護者の方の意見も取り入れ、職員それぞれの得意な分野を活かし、子どもたちが興味を持って取り組める内容を考えています。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は余裕がない日が多く、きめ細かくできているとは言えない日がある。		平日の利用時間は短いため、じっくりと個別対応ができない日があるので、遊びや会話から療育できるように考えています。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ活動内容でも視点を変えたり、課題を変えたりして工夫するように心がけている。	(21回答) はい(20) わからない(1) 「家に帰ってから楽しかったと子供が言っている」「長期休みも通常の利用曜日以外でも参加したい」という意見を頂きました。	各職員からテーマを持ち寄ったり、前職での経験を活かしたりしている。 前回と同じ活動でも課題やレベルを変えてその児童に合ったプログラムを考えています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	当日に出勤する職員が揃つた時点でミーティングを行っている。当日欠席があつたり急遽状況が変化するので全員が共有できていない時がある。		非常勤職員出勤後、全員でその日の予定、注意点、前日の引継ぎ項目等を共有していますが、途中での変更に対しても連絡しあつて共有できるようにしていきます。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は、退社時間となり全員で共有をできない事がある。		それぞれに退社時間が異なるので記録ノート等で翌日の支援前のミーティングで再度確認して共有しています。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	定型の業務日誌には充分に書き込めるスペースがない時は別紙ノートでみんなで共有している。		現在、業務日誌を毎日つけ、日々の様子を保管しています。 支援の検証・改善が必要な時は別ノートに記入して全員が共有できるようにしています。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの他、必要な状況であれば、みんなの意見を取り入れて、見直しを検討している。		支援計画書更新時の他にも気になる事があれば、対応して支援内容の変更を考えていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	支援センターや相談支援事業所からの依頼があれば参加、協力している。 担当者会議の事を知らない職員もいる。		各職員から聞き取りを行い担当者会議に参加しています。 場合によってはその児童に精通している職員も参加していきます。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当利用者なし		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当利用者なし		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当社児童発達支援事業所とは密に連携を取っている。		当社児童発達支援事業所とは密に連携をとっています。 学校の担任や、コーディネーターの先生、併用先の事業所とも連携をとっています。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当年齢の利用者なし		現在該当年齢の利用者はいないが、その際には情報提供は行っていきます。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な時は連携をとっている。 各種研修もインターネットなどで探している。		現在は連携をとっているケースはほとんどないが、適切な研修がないかを日々、探しています。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	ほとんど交流がないが、近くの公園に行った時には近所の子供たちと遊ぶことはある。	(21回答) はい(2) どちらともいえない(4) いいえ(6) わからない(9)	現在はほとんど関わりはないが、機会があれば、交流の場を作っていきたいと思います。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在は外出した時に挨拶をする程度。		現在はほとんど関わりはないが、機会があれば、交流して行きたいと思います。
1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	連絡ノートやお送りの際に随時お伝えしている。	(21回答) はい(21)	支援についてはお送りの際に細かい出来事をお伝えし、その他ご質問があればできるだけ迅速にお答えできるようにしています。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書作成段階でご家族の思いや要望をお聞きし、計画書お渡し時に口頭での説明をしている。	(21回答) はい(21) 「丁寧に説明を受けている。」というご意見を頂きました。	計画書をお渡しする際に、出来るだけ口頭でも説明させて頂いています。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	トレーニングは実施していないが、相談があれば、ご提案と言う形で対応させて頂いている。	(21回答) はい(11) わからない(3) いいえ(3) どちらともいえない(4) 「ペアレントトレーニングの機会があれば教えてほしい」というご意見を頂きました。	職員の知識、技術の向上を目指し、ご家族へも全職員が提案できるようめざしています。インターネットなどで講習やマニュアルなどがあれば、お知らせしていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡ノートを中心に共有をし、ご希望があれば、随時見学、面談を実施している。	(21回答) はい(21) 「ちょっとしたことでも伝えてもらえるのでありがたい」というご意見をいただきました。	送迎時や電話、メールなどで困り事など相談があった時は、できるだけその場で返答できるように、各職員の知識や技術の向上を目指していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からのご要望があれば、出来る範囲で対応している。また、専門機関へのご案内をしている。	(21回答) はい(13) どちらともいえない(7) わからない(1) 「送迎時に悩みを言うと、連絡をしてくれる」「定期的な面談がほしい」というご意見を頂きました	面談を気軽にご希望頂けるよう、お知らせしています。必要な時は他機関への紹介を提案したり、ご家族の不安を軽減していきたいと思えます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在父母の会等がない。	(21回答) はい(0) どちらともいえない(2) いいえ(13) わからない(6) 「交流があればうれしい」「必要ない」など様々なご意見を頂きました。	保護者同士の交流の機会がほしいという意見もあれば必要ないという意見もあるので、今後の課題にしていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情解決及び相談受付を設置して対応している。マニュアルを職員全体で確認し合い対応できるようにしている。	(21回答) はい(19) わからない(2)	苦情対応マニュアルを職員間で周知し、ご家族にもお伝えしていきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	各ご利用者の方の特性等に配慮し、少しでもたくさんコミュニケーションを取って信頼関係を築けるようにしています。	(21回答) はい(20) どちらともいえない(1) 「子供の特性を理解して接してくれている。」というご意見を頂きました。	常に子供たちの様子に目を配り、サインを見逃さない様に職員全員で気をつけています。研修等で障がいの理解を深め、ご家庭でのやり取りなども支援の参考にさせて頂いています。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	インスタグラムの配信や広報誌の配布等定期的に工夫しながら発信している。	(21回答) はい(20) わからない(1) 「インスタグラムが再開されたので楽しんでいきます」というご意見を頂きました。	今後も個人情報に注意しながら、日々の活動や通所時の子供たちの様子を見て頂けるように工夫して発信していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	複数名でチェックし、特に広報やインスタグラムの写真には気をつけている。。	(21回答) はい(18) わからない(3)	十分に注意を払って数人でチェックしています。インスタグラムや広報誌に載せる写真の取り扱いにも注意していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを定期的に職員で確認している。	(21回答) はい(17) どちらともいえない(2) わからない(2) 「どういう形で周知しているかがわからない。」というご意見を頂きました。	職員へ各緊急時のマニュアルの確認や研修を定期的に行っていきます。 保護者の方へも研修等の報告をさせていただきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に地震や火災の怖さもや、本当にあった時のひっ迫状況も伝えて訓練している。	(21回答) はい(20) わからない(1) どちらともいえない(1)	地震災害、火災、防犯、交通安全など最低年1回ずつ行い、今後も実施していく予定です。 全員が参加できていない事が課題です。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修、身体拘束適正化研修を全員行って具体的な事例を共有している。		虐待に対しての意識を常にもって支援に取り組む様に各職員には周知しています。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在までは該当例はなし。		現在まで身体拘束を行う場面はありませんが、身体拘束適正化委員会を設置して対応できるようにしています。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	ご家族からの情報から、おやつや調理実習の際に表を作って二人以上でチェックしている。医師の指示書はもらっていない。		利用者全員のアレルギーを表にまとめ職員がすぐに目にできる所へ配置し、生産ラインでのアレルギー使用がある物にも目を配っています。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットは全体ミーティングでも共有して、事例は報告書として管理している。		ヒヤリハット事例が起きた場合は速やかに原因を突き止め対策を講じるようにしています。 事例は書類として保管し職員で見返す事により今後の教訓としていきたいと思えます。